

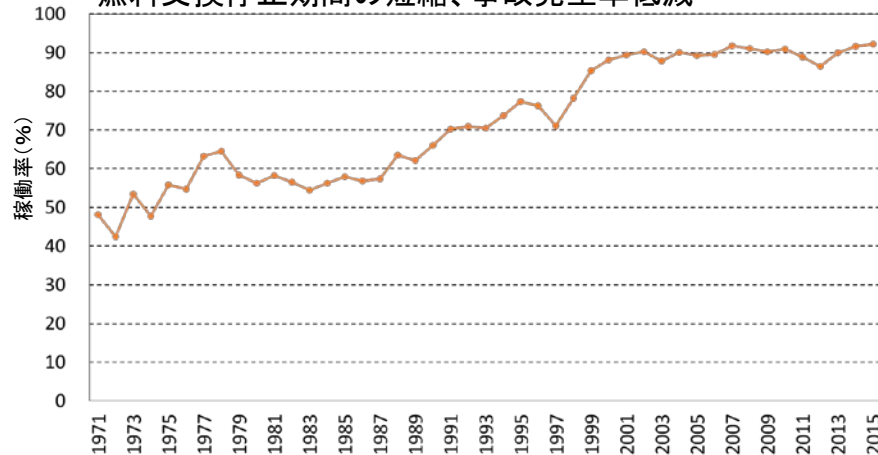
米国における軽水炉利用の経緯③～発電電力量の推移～

参考

- 米国では、自主的な安全性向上やリスクマネジメントの実践及び稼働実績及びリスク情報に基づいた規制の導入による客観性の向上に取り組み、その結果として、重要事象の発生頻度の減少や、稼働率向上、出力向上を達成し、総発電電力量の増加にもつながり、安全性と経済性を両立。

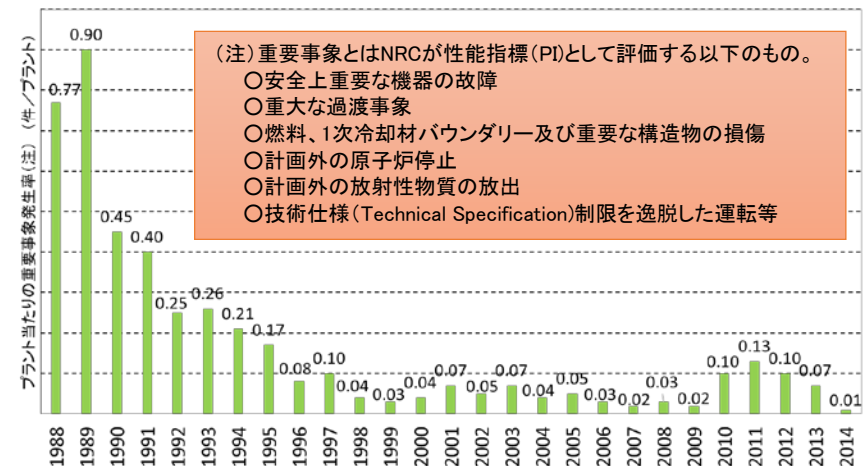
稼働率の推移

- 運転サイクル長期化(12か月から段階的に24か月運転)、燃料交換停止期間の短縮、事故発生率低減



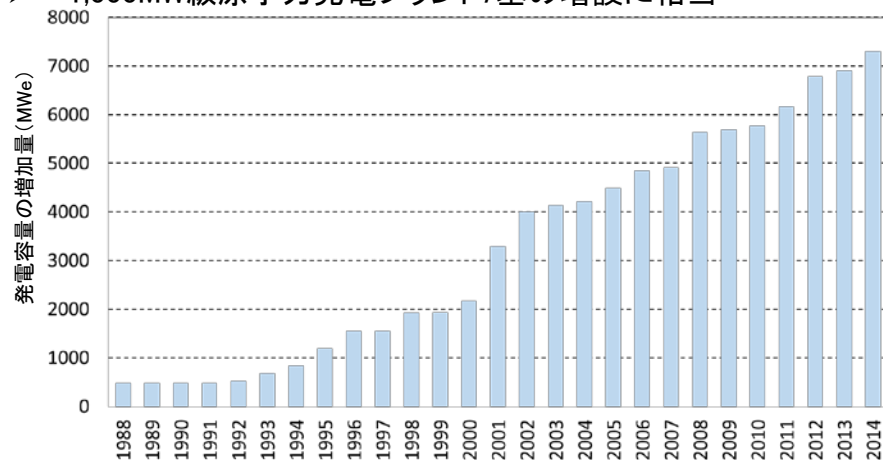
重要事象発生率の推移

- 重要事象発生率は、1990年頃から減少。



出力向上による発電容量の増加量の推移

- 43基の出力向上が認可され、発電容量の増加は累計7,300MWeに。
➤ 1,000MW級原子力発電プラント7基の増設に相当



発電電力量の推移

- プラント数は増加していないが、2015年の発電電力量は1988年の約1.5倍に増加

